

ま

や訓練風景

今回は、「甲板流し」について、ご紹介します。

甲板流し

「甲板流し」とは、入港前に、船体に付着した海水の塩分を真水で洗い流すことです。これにより錆の発生を抑え、艦の威容を保持します。

表面が壊れやすい素材で作られているため、慎重に洗い流しています。





↑ホースで水をまく人、ホースが絡まないように後方で補助をする人、甲板をブラシで擦る人が連携して効率的に行っていきます。

甲板だけでなく、搭載武器も洗い流します。



※ 艦の前の方にある5インチ砲を洗っている風景

甲板流しは通常、母港入港前に行くため、乗組員は久しぶりに家族に会える喜びから、皆テンション高めです。



※ 写真・図・資料・その他の無断転載はご遠慮下さい。